

令和2年11月9日

【第1回 豊科高校の未来を語る会】

11月9日(月)の夕刻、第1回豊科高校の未来を語る会を開催しました。

今回の出席者は、生徒代表(新旧の生徒会役員)、同窓会役員の皆様、PTAの正・副会長様、地区の区長様と教職員です。この会は、高校改革が進む中で、令和5年度に本校が創立百周年を迎えるのを機に、地域における豊科高校の役割や将来に向けた方向性を、様々な角度から継続的に語り合おうと、昨年からの企画をしておりました。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大により開催を延期せざるをえませんでした。ようやく実現に漕ぎつけ、第1回として本校に最も関係の深い方々にご参加いただきました。



次第

- 1 開会の言葉(生徒会副会長)
- 2 学校長挨拶
- 3 新旧生徒会長挨拶
- 4 参加者自己紹介
- 5 意見交換
- 6 閉会の言葉(生徒会副会長)

司会や会の運営は生徒が行い、冒頭に生徒代表から、「地域社会への貢献について」という本日のテーマが示されました。そして、現在学校で取り組んでいることや、「総合的な探究の時間」での活動を含めて生徒自身が自らの進路や将来について考えていることが語られました。

それを受けて、ご出席の皆様からは、ご自身の経験や高校生へのアドバイス等、貴重なお話を伺うことができ、生徒たちからは、学校で行われている講演会などとは別に、もっと身近な地域の方々のお話を聞く機会がほしいとか、様々な人の知識や経験を知りたい、と言った感想が聞かれました。

今回は第1回ということもあり、双方向の意見交換に発展する前に閉会の時刻となってしまいましたが、次回に向けて

- ◎ 様々な職業の卒業生の皆さんに参加していただく
- ◎ より発言しやすい具体的なテーマを設定する
- ◎ 活発な意見交換を促す小グループで議論をする

等の改善点が、すぐに浮かんできました。

今後も生徒が自らの手で学びの場を創り出していけるよう、地域の皆様のご協力をいただきながら、サポートしていきたいと思っております。